

日事 知る あの

奈良県知事

荒井 正吾



◎ベスト・ファーザー in 関西 イエローリボン賞 授賞式

六月二日(水)

今年の関西・政治部門のベスト・ファーザーに選ばれた。この賞は日本メンズファッション協会らで作られている実行委員会が発表されている。

とまどいがあったが、光栄に思う。夕刻から、授賞式、パーティーが大阪市内であり出席した。授賞者には、歌手の谷村新司さんもおられ、四月の平城宮跡第一次大極殿完成記念祝賀会でお会いして以来だったが、祝福させていただいた。今回私を選んでいただいたのは、平城遷都1300年祭のマスケットキャラクターのせんとくんのおかげかと思



う。本当に孝行息子だ。

家庭では、家族、特に子どもと一緒に食事に行くことを昔から心がけているくらいだが、家族への目立った貢献だが、賞をいただいたこの機会に、改めて家族へ感謝したいと思う。

◎知事と県民のつどい

六月六日(日)

今年度第一回目の「知事と県民のつどい」を県南部の下部観光文化センターで開催した。この「つどい」は、県が今やろうとしていることを県民の皆さんに聞いていただき、ご意見等をいただく場として、昨年度から実施している。

今年度は、今年一月から順次発表してきた、「奈良の未来をよくしたい」「奈良がこうなればいい」という願いをまとめた「5つの構想案」についてご意見をいただくという趣旨で開催する。今回は、南部地域での開催ということで、特に関係の深いものとして「(仮称)健やかに生きる構想」と「(仮称)南部を元気にする

構想」の二つの構想案をご説明し、あらかじめお申し込みいただいた県内にお住まいの五名の方から、ご意見をいただいた。



ご意見はそれぞれ「林業振興」や「吉野川の保全」など多岐にわたる内容で、公共と民間が協力していい地域を創るということに、県が率先して何をすべきかという思いをあらためて強くした。

◎奈良クラブ(サッカー関西一部 リーグ所属)表敬訪問

六月十四日(月)

サッカー関西一部リーグ所属の「奈良クラブ」の皆さんが来庁された。「奈良クラブ」は、これまで県社会人リーグで活動を続けてこられた「都南クラブ」を改称し、二〇〇八年に発足したチーム。

「奈良クラブ」には、元Jリーグ

の方々も在籍されており、選手兼コーチとしてトップレベルの経験を子どもたちに伝えるため、県内の学校・幼稚園、地域でサッカー教室を開催し、奈良からワールドカップに出場する選手をたくさん育てたいと幅広い活動をされている。



当日は、平城京に遷都した七一〇年にちなみ、背番号七一〇番のユニフォームをプレゼントしていただいた。私も高校時代にサッカー部に所属していたので、「スポーツを楽しめる地域づくりのリーダーになってほしい」と申し上げた。将来、奈良

県にもJリーグのチームが誕生すると本当に嬉しいのだが。

六月二十七日からは、関西リーグの後半戦がはじまるので、皆さんのご活躍を期待している。

◎第二回NARA奈良万葉世界賞贈呈式

六月二十七日(日)

NARA万葉世界賞の贈呈式が万葉文化館であった。NARA万葉世界賞は、万葉集に関する研究などで功績を上げた方を称えるもので、今回が二回目となる。受賞されたのは、中国の天津師範大学文学院教授の王暁平さん。古代中国の詩集「詩経」と万葉集の比較研究のほか、これまで



で読解が難しかった万葉集の中で引用された中国の漢詩について、新しい解釈を加えられたことなどが評価されたことが受賞につながった。

王さんのお話の中で、万葉集に使われている漢字の中には「詩経」など、中国の公式の書物に使われている漢字以外のいわゆる俗字が多い、という点に大いに関心を持った。また、王さんは受賞記念の講演で、「学生時代に万葉集に出会い、万葉仮名を見てみると漢字に新しい命が吹き込まれたようで、興味深く研究を続けてきた。」などと話されていた。

王暁平さんのさらなるご発展ご活躍を期待している。

◎榎原公苑野球場(佐藤薬品スタジアム)リニューアル記念式典

七月四日(日)

県高校野球、大学・社会人野球、軟式野球など、奈良県の野球競技のメイン球場として幅広く利用されてきた、榎原公苑野球場をリニューアルし、記念式典に出席した。今回のリニューアルでは、内外野の排水設備改修とあわせて、外野は天然芝から人工芝に、内野の黒土入れ替えなどグラウンドの全面改修を行った。

式典の後、都市対抗野球に出場が決まった地元社会人野球チーム「大

和高田クラブ」と、元メジャーリーガーの野茂英雄さんが立ち上げた名門の「NOMOベースボールクラブ」との記念試合があり、始球式を行った。せんとくんにエスコートしてもらってマウンドに立ち、久しぶりに力一杯ボールを投げ込んだ。グラウンドの内野を歩いたが、人工芝の感覚が、以前の天然芝と全然違い、硬く感じた。十日から始まる、高校野球奈良県大会に出場する選手たちも喜んでくれると思う。



また、七月からは新たに「佐藤薬品スタジアム」という愛称になり、今後もスポーツ振興の拠点として、さまざまな年代の皆さんに親しんでいただき、この球場から野茂英雄さんのような大リーガーが生まれてほしい。